

をスライドで見えていきました。日本同様アメリカでも宗教離れが進んでおり、人々の意識としては「宗教は大事だが、教団や寺との関わりは嫌だ」という事だそうです。しかし講師の先生はグリーンケアの視点から見て儀式の重要性はあると考えているそうです。仏教では枕経、納棺、通夜、葬儀、火葬、還骨、初七日、二七日～満中陰など、儀式を細切れにして、段階的に悲しみを受け入れていく良さがあったと言います。現在ではその一部だけを(一日葬・直葬など)行うことが増え、儀式の必要性を遺族が感じられなくなっているとの耳の痛い話でした。

私の感覚としては、宗教離れの他に経済的な事情で葬儀ができない場合も多いです。「お金がないと葬式ができない」のではなく、もっと自由に見送っても良いと思います。そして僧侶がその場にいる意味は何なのか、考えねばなりませんね。

今日の葬送儀礼を考える

「人の死を前に 僧侶は何ができるか」

講師 橋爪謙一郎氏

ピッツバーグ葬儀科学大学卒業。ジョン・F・ケネディ大学大学院修士号取得。グリーンカウンセラーとして活躍中。著書に『お父さん「葬式はいらない」って言わないで』など。



# 和尚のこれええよお

第1回「サンラメラ」

株式会社アイエフの  
遠赤外線輻射式  
セラミックヒーター



寺務室の床はコンクリートで、冬場は足元からの冷えが辛いです。でもサンラメラを置いてからは、足元から身体を包み込むような暖かさで、まさに窓越しに日向ぼっこしているような心地よさでした。このサンラメラ、①動作音がない②火を使わない③乾燥しない④セラミック板が300℃(類似品よりダントツ!)⑤アイエフさんが親切丁寧。な点が良いです。特に⑤は大事ですよ。ある人が8年間使用したことをブログに書いていて、故障

時に「保証書がなくてもシリアルナンバーを伝えただけで販売店、購入日などを確認し、一番早く修理が出来る連絡先を教えてくださいました(着払いでOKでした)」とあり、とても気持ちの良い対応だったそうです。他にも、使い始めは臭いが出るのでメーカーの方で一定期間試運転して臭いが無くなってから出荷するサービスもあります。外部タイマーを使って、寝る前に体を温め眠気を誘い、起きる前に体温を上げることで目覚めを良くしている人もいましたよ。なるほど〜。「トイレに行く回数が減りました」これは事務員のはたのさ



3月、4月も  
たくさん届ける  
ことができました  
合掌



おてら  
おやつ  
クラブ

お寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

お寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」するNPOおてらおやつクラブの活動です。

ワスレグサ  
とニゲラ



ハーデン  
バルギア



口井きよ美さんから絵葉書頂きましたよ